

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【公開番号】特開 2001-209773 (P2001-209773A)

【公開日】平成 13 年 8 月 3 日 (2001.8.3)

【出願番号】特願 2000-18030 (P2000-18030)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 K 19/077

B 4 2 D 15/10

G 0 6 K 19/073

【F I】

G 0 6 K 19/00 L

B 4 2 D 15/10 5 2 1

G 0 6 K 19/00 P

G 0 6 K 19/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 8 日 (2004.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

半導体集積回路チップが実装され複数個のコネクタ端子が形成されたカード基板を有し、前記コネクタ端子をケーシングから露出する IC カードであって、前記コネクタ端子は第 1 および第 2 の端子列が、IC カード挿入方向の前後に隣合う形であつ列相互間で前記端子列の配列方向にずらされて千鳥状に配置されて成り、前記第 1 の端子列は電源電圧供給用のコネクタ端子を有し、前記第 2 の端子列は、前記電源電圧供給用のコネクタ端子に隣接する部分と、前記電源電圧供給用のコネクタ端子の両サイドにある端子間領域に隣接する部分に、端子間領域を有することを特徴とする IC カード。

【請求項 2】

半導体集積回路チップが実装され複数個のコネクタ端子が形成されたカード基板を有し、前記コネクタ端子をケーシングから露出する IC カードであって、前記コネクタ端子は IC カード挿入方向の前後に形成された第 1 および第 2 の端子列を有し、第 1 の端子列に配置されたコネクタ端子の端子間領域の配列と第 2 の端子列に配置されたコネクタ端子の端子間領域の配列とが列方向で相互にずらされて成り、前記第 1 の端子列は電源電圧供給用のコネクタ端子を有し、前記第 2 の端子列は、前記電源電圧供給用のコネクタ端子に隣接する部分と、前記電源電圧供給用のコネクタ端子の両サイドにある端子間領域に隣接する部分に、端子間領域を有することを特徴とする IC カード。

【請求項 3】

半導体集積回路チップが実装され複数個のコネクタ端子が形成されたカード基板を有し、前記コネクタ端子をケーシングから露出する IC カードであって、前記コネクタ端子は IC カード挿入方向の前後に形成された第 1 および第 2 の端子列を有し、第 1 の端子列に配置されたコネクタ端子の列方配置と第 2 の端子列に配置されたコネクタ端子の列方向配置とが列方向で相互にずらされて成り、

前記第 1 の端子列は電源電圧供給用のコネクタ端子を有し、

前記第 2 の端子列は、前記電源電圧供給用のコネクタ端子に隣接する部分と、前記電源電圧供給用のコネクタ端子の両サイドにある端子間領域に隣接する部分に、端子間領域を有することを特徴とする IC カード。

【請求項 4】

前記第 2 の端子列に配置されたコネクタ端子の列方向一端のコネクタ端子は前記第 1 の端子列に配置されコネクタ端子の列方向一端のコネクタ端子と列方向で隣合う位置まで延在され、

前記第 2 の端子列に配置されたコネクタ端子の列方向他端のコネクタ端子は前記第 1 の端子列に配置されコネクタ端子の列方向他端のコネクタ端子と列方向で隣合う位置まで延在されて成るものであることを特徴とする請求項 2 又は 3 記載の IC カード。

【請求項 5】

前記コネクタ端子は 2 個の接地電圧供給用端子、及び 1 個のクロック信号入力用端子を含んで成るものであることを特徴とする請求項 1 乃至 4 記載の何れか 1 項記載の IC カード。

【請求項 6】

前記コネクタ端子は、4 ビット分のデータ用端子を含み、全部で 9 個設けられて成るものであることを特徴とする請求項 5 記載の IC カード。

【請求項 7】

前記コネクタ端子は、8 ビット分のデータ用端子を含み、全部で 13 個設けられて成るものであることを特徴とする請求項 5 記載の IC カード。